

平成23年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成23年2月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 県土整備部 都市整備課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>2. 巨大開発の見直しについて (2) つくばエクスプレス沿線開発について ア 柏北部中央地区と運動公園周辺地区は2022年度へと、施行期間を12年間延長したが、それで完了できると本気で考えているのか。</p>	<p>柏北部中央地区及び運動公園周辺地区では、社会経済情勢の変化や事業進捗等を踏まえ、平成21年3月に事業計画の変更を行いまして、事業期間を延伸し、平成34年度末までとしたところでございます。</p> <p>県では、この事業計画変更に伴い、投資効果が早期に発現できるよう、段階的な整備計画を策定し、平成29年度の概成、平成34年度の完成に向けて、鋭意事業を推進しているところでございます。</p> <p>今後とも、地元市と連携強化を図りながら、地権者の協力のもと、より一層のスピードアップに努めていきたいと思っております。</p>	<p>副知事 石渡 哲彦</p>

平成23年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成23年2月18日）

代表・一般

部（局・庁）・課（室）名 県土整備部 都市整備課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>2. 巨大開発の見直しについて (2) つくばエクスプレス沿線開発について イ 見直した計画以上に、負担総額が膨らむことはないかと約束できるのか。</p>	<p>今後とも、更なる事業費の縮減とともに、新たな補助金の導入など必要な財源の確保を図ることにより、現事業計画の実現に努めてまいります。</p>	<p>副知事 石渡 哲彦</p>

平成23年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成23年2月18日）

代表・一般

部（局・庁）・課（室）名 県土整備部 都市整備課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答弁要旨	答弁者
<p>2. 巨大開発の見直しについて (2) つくばエクスプレス沿線開発について ウ 柏北部中央地区の保留地処分単価は、近傍の基準地価と価格の開きが大きいが、この価格で保留地が売れるのか。</p>	<p>柏北部中央地区では、事業計画の変更にあたり、保留地の処分実績や地価動向等を勘案し、平均処分単価について検証等を行っており、適切なものと考えているところであります。</p>	<p>副知事 石渡 哲彦</p>
<p>【再質問】 かずさアカデミアパークの破綻の教訓をつくばエクスプレス沿線開発に活かさないのか。</p>	<p>土地が売れずに、かずさアカデミアパークの二の舞になるのではないかとのご質問ですが、議員のご質問にございました縁辺の土地が9万9千円と言うことでございますが、縁辺といいましても、9万9千円の土地は、4メートル道路で、下水道も入っていない土地であり、一方、私どもの土地は、原則として6メートル以上の道路で、下水道も完備しており、単純に比較はできないものと思います。</p> <p>また、計画上の数値は、17万8千円としてますが、残り30ヘクタールの保留地を15万円程で処分できれば計画を達成できるものと思います。仮に、縁辺部が10万円としても、駅周辺は20万円以上で売れており、単純に平均にすれば15万円での処分は可能と考えております。</p>	<p>まちづくり 担当部長 黒澤 道秀</p>

平成23年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成23年2月18日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 県土整備部 都市整備課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>2. 巨大開発の見直しについて (2) つくばエクスプレス沿線開発について エ 保留地を予定どおり処分し、県が穴埋めの負担をすることはないと切り切れるのか。</p>	<p>つくばエクスプレス沿線地域は、都心からの至近の距離にありまして、良好な市街地形成の進展につれ、宅地需要は十分見込まれるものと考えております。</p> <p>今後とも、経済情勢や不動産市況の動向を見極めながら、適切に保留地を処分してまいります。</p>	<p>副知事 石渡 哲彦</p>

平成23年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成23年2月18日）

代表・一般

部（局・庁）・課（室）名 県土整備部 都市整備課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>2. 巨大開発の見直しについて (2) つくばエクスプレス沿線開発について オ これ以上、傷を大きくしないうちに、開発区域の縮小等、計画の見直しに着手すべきと思うがどうか。</p>	<p>ただいま答弁申し上げましたように、つくばエクスプレス沿線地域は、都心から至近の距離にあり、つくばエクスプレスの1日あたりの乗車人員も、県内5駅合計で開業時の約3万5千人から直近では約7万2千人と2倍に伸びるなど、ポテンシャルが高い地域であることから、現事業計画の達成に努めてまいります。</p>	<p>副知事 石渡 哲彦</p>